

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立難波支援学校
校長名	室田 澄江

開催日時	令和 5年 7月 4日(火) 13:27~14:23
開催場所	難波支援学校 校長室
出席者(委員)	高知 会長、中島 副会長 谷口 委員、辻 委員、藪根 委員
出席者(学校)	室田 校長、錦織 教頭、松下 首席、木村 事務長
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度 学校経営計画
備考	

議題等(次第順)	
○学校経営計画について	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
○学校経営計画について学校長から概要説明を行った後、質疑に入った。 主な意見は以下のとおり。 (中島副会長) ・学部間交流について。こういった取り組みは非常によいことだと思います。他学部の児童・生徒と接することの少ない子どもたちにとって、違う年代の子どもと接するよい経験になると思うので是非とも続けていただきたいと思います。 ・タブレットの活用について。例えば、現在の施設入所者の方はタブレットを扱った経験が少ないので、使えない方が多い伺っています。学生の間から使うことで自分の世界を広げることにもなり、とても有意義だと思います。ただし、「ゲームばかり」ではなく、「調べ学習」に使えるように導いてほしいと思います。 ・防災に関して。学校外での非常時にどのように対応するか心配しています。高齢者に比べて、障がい者に関しては対応が遅れている感が否めませんので、大阪市とも連絡を密にして、連携を進めてほしいと思います。 (辻 委員) ・目標設定について。高い目標を掲げることで、目標達成には「どこが足りない」のか考えることが大事だと思いますので、例えば90%といったインパクトのある奇数値を目標にしてもいいのではと思います。 ・タブレット活用方法について。授業で使うのは難しい場合もあると思うので、例えば、修学旅行先で在校生とオンラインでやりとりするなど、違った形で取り組むのも、違った興味を持って、良い効果が得られると思います。 ・アセスメントについて。教育の王道としての「できないことをできるようにしてあげよう」だけではなく、「できることを伸ばすことでできないことをカバーする」といった、従来と少し違った考え方も取り入れてほしいと思います。 ・働き方改革について。「帰れない人」をなくし、先生方にとって活力が出るような働き方ができるような環境づくりが大事だと思います。会議時間の短縮、一斉退庁日の取り組みを是非とも成功させていただきたいと思います。 (谷口 委員) ・ICTの活用について。子どもたちは使いなれているという印象があります。ただ、少し使えることでかえって「トラブル」に巻き込まれるリスクが高まっています。タブレット活用にあたっては、そういう危険性についても一緒に教えてあげていただきたいと思います。 ・新型コロナの5類移行に伴い、地域との連携の機会も増えてきますので、今後、多面的に協力していきたいと思います。 (藪根 委員) ・防災関係について。以前は避難食を1食多く持ってきて学校で実食しましたが、今はしていないと聞いています。実際に食べてみてはじめて不都合な点が判るので、是非再開してほしいと思います。 ・備蓄品についても、以前同様、学校とPTAが協力して在庫確認を行っていただけると保護者も安心すると思います。 ・タブレット週間について。非常によい取り組みだと思います。谷口委員のお話を聞いて、子どもがトラブルに巻き込まれないように保護者向けの研修会を開催していただき、保護者同士で情報共有を行っていく必要があるなど感じました。 (高知 会長) ・ICTの活用について。「ゲームばかりではなく調べ学習への活用を」ということで、先生方も苦勞されていると思います。修学旅行先からの在校生とのオンライン交流などは現実味がある取り組みだと思うので、検討願えたらと思います。 ・防災について。通学途中で災害にあった時にどうするのか、大阪市の方と相談していただき、事前の備えにつなげてほしいと思います。また、避難食については確かに実食の経験も必要だと思います。	

次回の会議日程	
日時	令和5年11月上旬~12月中旬
会場	難波支援学校 校長室